

報道関係各位

ジェットスター・ジャパン株式会社

ジェットスター・ジャパン、2013年お盆期間 お客様ご利用実績

2013年お盆期間(2013年8月9日(金)～2013年8月18日(日))のジェットスター・ジャパンお客様ご利用実績をご報告いたします。

■ご利用実績

東京(成田)＝大阪(関西)、東京(成田)＝札幌(新千歳)、東京(成田)＝福岡、東京(成田)＝沖縄(那覇)、東京(成田)＝大分、東京(成田)＝松山、東京(成田)＝鹿児島、大阪(関西)＝札幌(新千歳)、大阪(関西)＝福岡、大阪(関西)＝沖縄(那覇)、名古屋(中部)＝福岡、名古屋(中部)＝札幌(新千歳)、名古屋(中部)＝鹿児島、計13路線の合計提供座席数およびご利用実績

提供座席数		総旅客数		利用率
126,000席 (28,800席)	前年比	108,657人 (25,790人)	前年比	86.2% (89.5%)
	437.5%		421.3%	

()内は昨年実績

■搭乗日別ご利用実績ハイライト

下りピーク: 10日 94.7%

上りピーク: 18日 96.0%

■お盆期間における各路線便数(往復/日)

成田＝新千歳 6便
 成田＝関西 2便
 成田＝松山 3便
 成田＝福岡 5便
 成田＝大分 3便
 成田＝鹿児島 2便
 成田＝那覇 3便
 関西＝新千歳 1便
 関西＝福岡 1便
 関西＝那覇 3便
 中部＝福岡 2便
 中部＝新千歳 2便
 中部＝鹿児島 2便
合計35便(往復)

■直近3カ月の定時運航率(ご参考)

5月:93% 6月:91% 7月:93%

※本リリースは、国土交通記者会、国土交通省交通運輸記者会、成田空港記者会・民放クラブ、関西国際空港記者会、中部国際空港記者会、番町記者クラブ、大分県政記者クラブ、鹿児島県政記者クラブへ配信しています。

<ジェットスターグループについて>

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の売上高を誇り、最も急速に成長している LCC です。ジェットスターグループは日本、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、ベトナムに航空会社を有し、2013 年には香港(関係当局の承認を前提とする)にも設立予定です。ジェットスターグループ全体で、アジアの 30 都市及び中国の 8 都市を含むアジア太平洋地域の 62 都市に週 3,500 便を運航しています。2012 年会計年度には、ジェットスターグループ全体で 2,060 万人超のお客様にご利用頂きました。

<ジェットスター・ジャパン株式会社について>

ジェットスター・ジャパンは 2012 年 7 月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄に就航した LCC であり、2013 年 3 月より名古屋と大分、5 月より鹿児島、6 月より松山にも就航しています。国内線就航時には、A320 型新造機 3 機(180 席)で運航を開始、現在は 13 機で運航しており、今後 24 機まで増強する予定です。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。